Engineer

増強後の server-01

2026年11月20日

`server-01` は、トロントにある当社の DigitalOcean サーバーです。現在は Basic プランで稼働しており、構成は **1 vCPU、メモリー 1 GB、ディスク 25 GB** です。増強前の構成は 1 コア、メモリー 512 MB、そのうち使用可能な 容量は約 464 MB、ディスクは 10 GB でした。

技術的な取り組みを自社のシステムに生かす

「増強後の server-01」で扱う技術的な取り組みは、次の変更を考える参考になります。お客様のソフトウェア、データ、インフラで起きる同様の挙動を調査できます。 実際の使用量に合わせてサーバーを構成し、月額費用を事前に把握したうえで、クラウドへの移行もクラウドからの移転も進めます。

サービスを見る お問い合わせ →

推論とその適用範囲をたどる

この技術ノートの推論と、その適用範囲をご覧ください。お客様の環境でも同じ診断が成り立つかを検証できます。 Google Cloud・AWSでDockerアプリ20個を運用 — 20 デプロイし監視したコンテナアプリケーション

Google Cloud・AWSでDockerアプリ20個を運用 お問い合わせ →

このサーバーで動くサービス

OS は Debian です。Caddy は、会社のサイトと分野別サイトを HTTPS で配信します。メインサイトの 公開ファイルは、Gemini、Gopher、Tor でも閲覧できます。Git リポジトリの ホスティングには Soft Serve を使っています。Ansible でサーバー構成をコードに しているため、同じ構成を再構築できます。使っている ソフトウェアと公開サービスの 関係は、クレジットに記載しています。

以前の数値を記録しておく理由

512 MB での運用事例には、 増強前に動かしていたサービスと、使用可能なメモリーが設計上の判断にどう影響したかを 記録しました。1 日の測定では、利用可能なメモリーは約 310 MB を下回りませんでした。 これは増強前の構成で測った値です。今回の増強でメモリーと ディスクの容量は増えましたが、vCPU は 1 基のままです。負荷がかかったときの両者を 比較するには、同等の条件で改めて測る必要があります。割り当て容量、使用可能な メモリー、実測した余裕を区別しておくと、次の容量判断にこの記録を生かせます。

すべてのブログ記事

変更の前に測る

デプロイの流れ、運用上のリスク、緊急対応の担当者をお知らせください。検査、復旧手段、明確な責任の所在を伴う変更の範囲を定められます。

料金を見る お問い合わせ →

観測したことを相談する

ご自身のプロジェクトに即して「増強後の server-01」についてご相談ください。何が観測されたか、どのような結果が役立つかをお聞かせください。

サービスを見る

welcome@engineer.company +45 50 10 61 84 デンマーク、コペンハーゲン

このページを持ち歩く 連絡先カード

心を込めて丁寧に制作： D.

CVR 45969703 · Tagensvej 105C, 3. th, 2200 København N

著作権 © 2025 – 現在 · Engineer ApS · すべての権利を留保します。

印刷元： https://engineer.company/ja/notes/server-01-after-the-upgrade/